

令和3年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	下北文化会館	
指定管理者	団体名	株式会社東京堂
	代表者	代表取締役 内田征吾
	所在地	むつ市小川町一丁目10番6号
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日 (1年間)	
指定管理業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・下北文化会館全体の維持管理及び運営に関する業務 ・文化芸術の振興に関する業務 ・文化会館の使用許可に関する業務 ・舞台設備の操作点検に関する業務 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	120,092	114,094	▲5,998
うち利用料金額	28,075	9,796	▲18,279
うち指定管理料	90,367	93,764	3,397
支 出 合 計 (B)	120,092	112,243	▲7,849
うち人件費	27,144	26,901	▲243
収支差 (A-B)	0	1,851	1,851
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による貸館減少並びに休館対応による減収と経費削減 ・市役所利用減免による減収 ・センター棟改修工事に伴う減収 		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	下北文化会館	149,680	46,461	▲103,219
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無) ・利用に関するお礼のみ				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
三井住友海上文化財団なぎさプラスゾリス ステンコンサート（中止）	0	0	127
下北管内の学生のための楽器講習会 （中止）	0	0	0
山里亮太の140	567	3,940	2,053
夏休み映画企画（中止）	0	0	0
文化庁アートキャラバン事業 ミュージカル松浦武四郎 カイ・大地の 約束	335	3,295	3,203
下北地区子ども会郷土芸能発表会（中止）	0	0	0
第11回サークル活動発表会 SHIMOKATSU	207	0	77
下北Jr. ウィンドオーケストラ	600	1,870	1,870

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	A	A
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B

(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

会館運営にあたる基本的な項目は業務水準を達成しています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による休館対応の他、むつ下北未来創生改修工事があり、柔軟かつ臨機応変な対応が求められました。楽屋単独の貸し出しや大ホールなどを活用する事で、長期休館することなくお客様のニーズに合った提案で活動を継続していただくことができました。【A評価(1) ①④ (2) ① (3) ②】自主事業では文化庁の文化芸術振興費補助金を活用し多くの市民に喜んでいただく事業展開ができました。【A評価(2) ③】また、施設の管理に関しては、委託業者の理解と協力により厚生労働省の雇用調整助成金を利用しながら、大幅な管理経費削減に努めることができました。【A評価(3) ①】

今年度より、むつ市利用分が減免となったことで、収入と経費のバランスを保つことができるか、年度末まで見通しを立てることが難しい年でしたが、市との連携を密にとりながら円滑に運営することができました。最終的にプラス着地の見通しがたった時点で、予算額を超える大幅な修繕を実施することができ、市民が快適に利用するための施設の維持に取り組みました。【A評価(4) ②】

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

令和3年度は、むつ下北未来創生キャンパス整備に伴うセンター棟の改修工事、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業と、これまでと異なる施設運営をお願いすることとなりましたが、当施設を長年管理してきた経験が活かされ滞りなく運営されたと考えております。

施設の維持管理、使用許可等の通常業務については大きなトラブルもなく、利用者アンケートの結果も利用に際するお礼が主なものとなっており、利用者サービスも問題なく提供されていると考えます。

改修工事に伴うセンター棟の貸館停止により利用者の減少が見込まれていましたが、施設の利用促進及び利便性の向上を図るため、また利用者からの要望に応える形で楽屋の個別貸し出しを開始し、利用件数及び利用者人数が唯一昨年度を上回る結果となったことは評価すべき点です。

近年、利用者の減少に新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかける状況ですが、リニューアルした貸館のPRに努めるとともに、積極的な自主事業による利用者の増加に努めてもらいたいと思います。